

農業簿記演習 - 決算A

次の決算整理事項を仕訳し、下記の精算表を作成しなさい。

決算整理事項

減価償却額(間接法):大農具 ¥9,000 建物 ¥2,500

利息の未払分 ¥2,000

共済保険料の前払分 ¥7,000

農業外雑収益の未収分 ¥2,300

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	102,000	-						
当座預金	219,000	-						
売掛金	233,000	-						
大農具	399,000	-						
建物	550,000	-						
土地	500,000	-						
-	-	-						
買掛金	-	195,000						
長期借入金	-	200,000						
大農具減価償却累計額	-	54,000						
建物減価償却累計額	-	120,000						
-	-	-						
資本金	-	900,000						
-	-	-						
稲作収益	-	1,020,000						
野菜収益	-	374,000						
農業外雑収益	-	41,000						
受取地代	-	18,000						
-	-	-						
種苗費	353,000	-						
肥料費	200,000	-						
農薬費	50,000	-						
諸材料費	50,000	-						
雇人費	198,000	-						
共済保険料	27,000	-						
賃借料	15,000	-						
水道光熱費	22,000	-						
支払利息	4,000	-						
-	2,922,000	2,922,000						
-	-	-						
減価償却費								
未収()								
前払()								
未払()								
前受()								
-	-	-						
当期純()								
-	-	-						
-	-	-						
-	-	-						

農業簿記演習 - 決算F

次の決算整理事項を仕訳し、下記の精算表を作成しなさい。

決算整理事項

1, 大農具および建物について定額法により減価償却を行う。

……大農具 耐用年数5年 残存価額:取得原価の10%

……建物 耐用年数20年 残存価額:取得原価の10%

2, 仮受金 ¥11,000は、得意先からの売掛金の回収であることが判明した。

3, 保険料は平成 年9月1日に向こう1年分を支払ったものである。

4, 借入金は平成 年11月1日に借入期間1年、年利率6%で借り入れたもので、利息は元金とともに返済期日に支払うことになっている。

5, 受取手形および売掛金の期末残高に対して4%の貸倒れを見積もる。貸倒引当金の設定は、差額補充法による。

6, 手数料の未収分が ¥13,000ある。

……計算、仕訳欄……

農業簿記演習 - 決算EE

次の精算表について、残高試算表のデータが消失してしまった。逆算により試算表の欄を埋め、精算表を完成させなさい。

学科 番号 氏名

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金			-	-	-	-	29,500	-
現金過不足			500	-	-	-	-	-
当座預金			-	-	-	-	83,400	-
受取手形			-	-	-	-	21,330	-
売掛金			-	7,000	-	-	34,400	-
大農具			-	-	-	-	70,000	-
建物			-	-	-	-	300,000	-
-			-	-	-	-	-	-
-			-	-	-	-	-	-
買掛金			-	-	-	-	-	10,900
長期借入金			-	-	-	-	-	42,000
仮受金			7,000	-	-	-	-	-
貸倒引当金			-	1,800	-	-	-	2,800
大農具減価償却累計額			-	4,500	-	-	-	26,000
建物減価償却累計額			-	9,000	-	-	-	162,200
-			-	-	-	-	-	-
資本金			-	-	-	-	-	300,000
-			-	-	-	-	-	-
野菜収益			-	-	-	332,300	-	-
畑作収益			-	-	-	29,800	-	-
農業雑収益			-	-	-	900	-	-
受取手数料			-	500	-	1,230	-	-
-			-	-	-	-	-	-
種苗費			-	-	257,000	-	-	-
雇人費			-	-	76,300	-	-	-
肥料費			-	-	9,200	-	-	-
農薬費			-	-	3,500	-	-	-
共済保険料			-	5,000	3,000	-	-	-
支払利息			-	-	200	-	-	-
-			-	-	-	-	-	-
-			-	-	-	-	-	-
-			-	-	-	-	-	-
-			-	-	-	-	-	-
-			-	-	-	-	-	-
貸倒引当金繰入			1,800	-	1,800	-	-	-
減価償却費			13,500	-	13,500	-	-	-
未収()			-	-	-	-	-	-
前払共済保険料			5,000	-	-	-	5,000	-
未払()			-	-	-	-	-	-
前受()			-	-	-	-	-	-
-			-	-	-	-	-	-
当期純()			-	-	-	270	270	-
-			-	-	-	-	-	-
			27,800	27,800	364,500	364,500	543,900	543,900

農業簿記演習 - 決算G

次の決算整理事項を仕訳し、下記の精算表を作成しなさい。

決算整理事項

1, 固定資産について定額法により減価償却を行う。

・・・大農具 耐用年数5年 残存価額:取得原価の10%
・・・建物 耐用年数20年 残存価額:取得原価の10%

2, 現金の実際手許有高は¥68,200である。

3, 消耗品の期末未消費高が¥500ある。

4, 利息の未払分が¥400ある

5, 貸倒引当金は、受取手形と売掛金の期末残高に対して5%を設定する。貸倒引当金の設定は、差額補充法により、設定する。

6, 共済保険料は、平成 年10月1日に向こう1年分を支払ったものである。

7, 手数料の未収分が¥1,300ある。

・・・計算、仕訳欄・・・・・・・・・・・・・・・・

農業簿記演習 - 決算H

次の決算整理事項を仕訳し、下記の精算表を作成しなさい。

決算整理事項

1, 固定資産について定額法により減価償却を行う。なお、大農具Aは平成 年5月1日に取得したものである。減価償却は月割計算による。

……大農具A	取得原価 ¥ 5,000	耐用年数3年	残存価額:取得原価の10%
……大農具B	取得原価 ¥ 15,000	耐用年数5年	残存価額:取得原価の10%
……建物		耐用年数30年	残存価額:取得原価の10%

2, 現金の有高が ¥ 300 不足していたが、原因不明のため雑損として処理することにした。

3, 消耗品の期末未消費高が ¥ 800 であった。

4, 借入金のうち ¥ 20,000 は平成 年11月1日に期間1年、利率年6%で借り入れた。利息は返済期日に元本とともに支払う約束である。利息は月割り計算による。

5, 受取手形と売掛金の期末残高に対し、2%の貸倒引当金を、差額補充法によって計上する。

6, 共済保険料のうち ¥ 600 は、平成 年7月1日に向こう1年分を支払ったものである。

7, 支払家賃は11ヶ月分で、12月分が未払となっている。

……計算、仕訳欄……

